

令和5年度 南区まちづくり推進事業 実績報告



令和5年度 南区まちづくりの取組み

防災力の向上によるまちづくり

- 1 津波・高潮警戒地域防災計画作成支援事業
- 2 防災に強いまちづくり事業
- 3 南区区民防災会議開催事業

地域の課題・特性に応じたまちづくり

- 4 南区子どもの交通安全対策事業
- 5 終末期医療に関する啓発事業
- 6 口腔ケアに関する啓発事業
- 7 南区“いきいき”スポーツ大会等事業

ICTでつながるまちづくり

- 8 ICTでつながるまちづくり事業

住民と行政の協働によるまちづくり

- 9 まちづくり人材育成事業
- 10 城南地域ブランド力向上推進事業
- 11 みんながつながる地域マップ作製事業 **防災1に統廃合**
- 12 地域とつくるまちづくりイベント事業
- 13 地域資源活用事業
- 14 地域コミュニティづくり支援事業
- 15 地域緊急課題対応事業
- 16 南区まちづくり懇話会

1 津波・高潮警戒地域防災計画作成支援事業

目的

◆沿岸部の防災・減災対策の強化実現のため、飽田地区の地域と行政が共同で実効性のある避難計画（地区防災計画）を作成することで、被害軽減を図り防災力向上を図る。

内容

◆飽田地区の地域防災力向上のため、校区全体での研修会及び校区ごとにワークショップを実施し、地域の改題を整理するとともに課題解決に向けた行動計画を定めた、飽田地区防災計画を作成することで災害に強いまちづくりを進める。

<実績>

飽田地区3校区（飽田東、飽田南、飽田西）に対し地区防災計画作成に関する説明会及びワークショップを実施

- ・第1回全体説明会（飽田全校区対象）

日時：令和5年8月5日（土）

会場：飽田公民館

講師：荒木 逸治

- ・第2回、第3回ワークショップ（校区ごとに開催）

日時：令和5年10月14日、11月25日（飽田東）

令和5年10月8日、11月26日（飽田南）

令和5年10月8日、11月30日（飽田西）



2 防災に強いまちづくり事業

R6継続事業

目的

◆地域防災組織として校区防災連絡会、避難所運営委員会、自主防災クラブが結成されている。南区在住の防災リーダー（防災士）を育成し、各防災組織等と連携させることで、双方の活動の活性化を図り、地域防災力の向上に繋げる。

内容

◆R4年度に防災組織等の活性化に向けて、防災士と区役所が協力・連携しながら地域へ防災講座や防災訓練等の支援を実施していくための研修を実施した。R5年度も防災士に対する研修を継続的に実施しながら、研修を受講した防災士が、行政と協同で地域に対しての訓練・研修を実施し、地域防災力の向上に繋げるとともに、防災士の活躍の場を広げる。

<実績>

コミュニティ防災人材育成プログラムin南区を開催

日 時：令和5年12月16日（土）17日（日）

会 場：川尻公会堂

講 師：大阪公立大学都市科学・防災研究センター

内 容：

防災に役立つツール

（LINEオープンチャット、グーグルマイマップ）の紹介
AR（拡張現実）アプリを使用して実際の街を歩き等



3 南区区民防災会議開催事業

目的

◆「地域のつながりで備える防災力向上」をテーマに、基調講演や防災ゲームを通じた意見交換を実施することで、各地域の効果的な防災訓練等の取組に繋げ、地域防災力の向上を図る。

内容

- ◆①有識者による基調講演
テーマ「地域のつながりで備える防災力向上」
- ②地域の防災人材の発掘及び育成
機能別消防団（防災サポーター）の紹介
- ③防災ゲームを通じた意見交換会
防災ゲーム「クロスロード」を参加者で実施し、その中で出た課題や解決に向けた考え方などを校区内外の参加者同士で共有し意見交換を行う。

<予定>

南区防災研修会

日 時：令和6年3月2日（土）

会 場：雁回館

参加者：校区防災連絡会・避難所運営委員会・消防団・防災士（南区在住）
機能別消防団（防災サポーター）

4 南区子どもの交通安全対策事業

R6継続事業

目的

- ◆ スクールゾーン内の歩道等に、南区キャラクターや特徴的なライン・マーカ等を整備することで、児童・運転者の交通安全意識の向上と事故防止を図る。

内容

- ① 南区のキャラクターが入ったシートを作成（南区まちづくり推進事業）
- ② 学校周辺の横断歩道に貼り付け（土木センター維持課の予算で対応）
- ③ 車両の通行が多いスクールゾーンへのグリーンライン入れ（②と同様）



<実績>

- ① デザインしたデータでシートを作成（南区まちづくり推進事業）
- ② 横断歩道をカラー化（計11箇所）、シートを貼り付け（土木センター維持課の予算）
- ③ グリーンラインを施工（計2箇所、L=565m）



5 終末期医療に関する啓発事業

R6継続事業

目的

- ◆「在宅医療」の現状と「終末期医療」の課題や、メッセージノートの書き方などに関する啓発事業を行うことで、区民の地域包括ケアシステムに関する理解を深めることを目的とする。

内容

- ◆地域公民館やコミュニティセンター等において、地域住民を対象とした人生会議セミナーを開催
- ◆国が定めた人生会議の日（11/30）に合わせて、区民を対象としたイベント（講演等）を開催

＜実績＞

- 「人生会議セミナー」 ⇒ 14回 参加者合計 528名
（令和5年4月～令和5年12月末現在）
- 「第3回南区人生会議の日」
⇒ 11/25（土） 参加者 240名



6 口腔ケアに関する啓発事業

R6継続事業

目的

- ◆区民の口腔衛生に対する関心を高めるとともに、地域の歯科医療機関や企業と連携し、区民の歯や口の健康づくりの活性化を図る。

実績

<城南学園>

日 時：令和5年10月10日（火）14:00～15:30

対象者：城南学園職員 31名 場所：城南学園体育館

- ・歯科医師による歯科講話「健口で健康に」
- ・歯科衛生士による歯周病リスクチェック、歯みがき指導等
- ・管理栄養士による栄養講話「生活習慣病予防の食生活」



歯みがき指導を受ける職員

<富合小学校>

日 時：令和5年11月13日（月）14:00～15:30

対象者：1年生保護者 33名 場所：富合小学校音楽室

<富合商工会>

日 時：令和6年2月9日（金）19:00～19:45

対象者：青年部 9名 場所：富合商工会

※富合小学校・富合商工会

- ・歯科衛生士による歯科講話「口腔内からの健康づくり」
- ・管理栄養士による栄養講話「生活習慣病予防の食生活」



栄養講話を聴く職員

7 南区“いきいき”スポーツ大会等事業

R6継続事業

目的

- ◆区民一人ひとりの健康づくりと区民の一体感の醸成

内容

- ◆南区内に位置する加勢川河川敷にて南区の自然を体感するイベントとして、穴掘り大会を開催

実施主体：南区を自然でつなぐ実行委員会

（南区内各商工会青年部、川尻商店街連合会、南区役所等）

日時：令和6年2月11日（日）

場所：加勢川新町橋付近河川敷

参加者：大人 44チーム

ファミリー 9チーム

小中学生 8チーム



8 ICTでつながるまちづくり事業

R6継続事業

目的

- ◆高齢者向けのSNS講座等を開催することで、デジタルディバイド対策によるデジタル化の促進及び世代間交流を図る。

内容

- ◆高齢者向けスマホ等講座
R4年度に引き続き、各まちセンで「初めてのスマホ教室」を開催する。



公民館講座と連携し、スマホを持っていない方などの初心者向けに、大学生を交えたスマホ講座を開催。
スマホに実際に触れることで興味を持ち、アプリの利便性や活用方法を知ってもらうことができた。
また、地元の大学生が講師のサポートになることで地域の世代間交流につなげることができた。

<実績>

- | | |
|------------------|--------------------|
| 【富合】全4回の講座で42名参加 | 【飽田】全2回の講座で27名参加 |
| 【天明】全3回の講座で10名参加 | 【幸田】全8回の講座で74名参加 |
| 【城南】全7回の講座で64名参加 | 【南部】全14回の講座で170名参加 |

6～1月にかけて公設公民館6会場で開催し、延べ387名が参加

9 まちづくり人材育成事業

目的

- ◆まちづくりに関心のある市民を発掘・育成し、地域間交流の機会を提供することで、新たなまちづくり団体の創出や自主自立のまちづくり活動への支援を図る。
- ◆南区職員がまちづくりに必要となる研修を通し、人材の育成と地域の活性化に向けたスキルの向上を図るもの。

内容

- ◆まちづくりに関心を持つ住民同士が結びつき、自らのまちづくり活動のコンセプトをブラッシュアップするためのワークショップの開催
- ◆実際に活動を開始するために必要なノウハウを習得するための「まちづくり活動講座」の開催

実績

◆まちづくりサロンin幸田

まちづくり活動に興味のある住民が気軽に集まり、参加者同士が交流し、地域を学びながらつながりを作っていただく場としてまちづくりサロンを開催。

R5年度は1月までに全4回開催し、参加者は延べ80人を超えた。

また、参加者発案のアイデアの実践も行った。

- ・7/23 ボッチャ大会
- ・8/27 こうだ☆ランド&デイキャンプ



◆加勢川下流域まちづくり座談会

加勢川下流域3校区（川尻・富合・中緑）の地域住民・校区自治協議会等に加え、国土交通省や市職員等が参加し、加勢川など地域の魅力を活かしたまちづくりを推進するための座談会を実施（全5回）。

各校区の現状や課題を整理し、対応するためのアイデアを出して整理を行った。

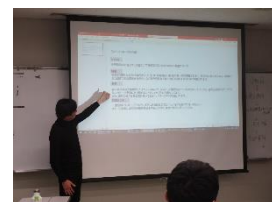
そのほか、川下りやまち歩きイベントが実施され、水辺を活かしたまちづくりに向けての取り組みが進んでいる。



◆南区職員広報力向上研修

広報誌やホームページ等各種媒体を通じて効果的に分かりやすく発信する広報を実現するため、南区職員の広報力向上を目的とした研修を実施し、計41名の職員が参加した（全2回）。

全国の他自治体で地域資源の宣伝・開発に取り組まれる講師を招き、講義とグループワークを通じて広報の意義や広報誌で情報を効果的に伝える技術等を習得した。



10 城南地域ブランド力向上推進事業

R6継続事業

目的

- ◆ まちづくりを担う人材育成
- ◆ 官民協働のまちづくりの推進
- ◆ 地域特性を活かしたまちづくりの推進
- ◆ 持続的、自発的な地域活動の推進
- ◆ 地域情報の発信

令和5年度の実践

1 火の君カフェ事業【継続】

まちづくりの拠点となるプラットフォームの構築事業。
毎月1回 城南まちづくりセンター会議室 参加者15名程度 ※写真①

2 火の君商品開発塾事業【拡充】

城南町産の運根を使用した惣菜パン「パンdeレンコン」に加え、令和5年度は城南町産バニラビーンズを使用した新商品「城南ヴァニラプリンシェイク」を商品化し販売。シェイク以外の商品も開発中。 ※写真②・③

3 婚活イベント事業【拡充】

少子化対策、定住人口の誘引、地域活性化を目的とした婚活イベントを開催。
令和5年度は、城南町及び周辺地域の名所を巡るバスツアーを実施。 ※写真④

4 nansama城南事業【継続】

城南町の魅力を発信し交流人口の拡大を図るため、令和5年度は城南町商工会をはじめとした各種団体と連携し、「城南夏まつり」や「あきげしき幻灯彩」など、集客力の高いイベントにおいて、勾玉作り体験やちくわ作り体験などの参加型イベントを実施。そのほか、イチゴ苗植えの農業体験も実施した。 ※写真⑤・⑥・⑦

5 火の君お助けマップ事業【継続】

城南町は人口（子育て世代）が増加していることから、新たに城南町にお住いになる方々へ地域の魅力を発信するとともに、シビックプライドの醸成を図るため「火の君初心者マップ」を毎年更新。 ※写真⑧

6 広報事業【新規】

SNSやTV等を活用した広報手段に加え、令和5年度はラジオを活用し城南町の魅力やワンダホーの取組を発信。

（ラジオ）熊本シティエフエム FM79.1「朝リズム」「校区の力」で各事業の周知
（テレビ）RKK「タガゲツキン」にて城南ヴァニラプリンシェイクの紹介
（新聞）熊本日日新聞でワンダホーの紹介（南区発ひと編）

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



11 みんながつながる地域マップ作製事業

目的

- ◆地域住民が自ら地域を探索し、地域の魅力を再発見する機会を提供することで、地域愛を深める。
- ◆地域の力で作り上げたマップの活用や写真というツールを通じた世代間交流

内容

1 津波・高潮警戒地域防災計画作成 支援事業に事業統廃合

- ◆「地域マップ」の活用
R4年度に作成した地域マップのHP公開とInstagramでの広報。
地域や学校への提供とまちセンでの配布。
- ◆地域2（防災）の作成
地域マップのバリエーションとして防災をテーマとしたマップを地域とともに作成し、防災減災のまちづくりに向けた取組に活用する。



飽田地域フォトマップ

地域の魅力情報収集	随時	地域住民からの写真募集
	8月～	高校生4名による写真部活動中
	1月～3月	写真講座開催
情報発信	随時	Instagramへの写真投稿
飽田地域フォトマップ作成	3月完成	

12 地域とつくるまちづくりイベント事業

目的

- ◆ 住民同士がつながり（世代間交流、校区間連携）、地域と官民がつながり（協働によるまちづくり）、まちづくり活動を将来につなげる（次世代の担い手育成）。
- ◆ 自分たちの住む地域の魅力発見による地域愛も醸成、地域コミュニティの活性化を図る。

内容

- ◆ 「アウトドア×防災」イベント（校区の垣根を超えた連携）の開催
- ◆ 二次元コードを活用したクイズラリーの実施

取組内容

◆アウトドア×防災 ～アウトドアで遊んでまな防！～

【日時】 令和5年12月3日（日）10時～15時 【場所】 力合西小学校

【参加者】 61人（午前31人・午後30人 ※各35人までとしていたもの）

【内容】 災害時に役立つアウトドアグッズの紹介、テント張り体験、火起こし体験

【連携】 力合西小PTA、スポーツオーソリティアウトドア西熊本店



◆クイズラリー ～ナゾトキディスカバーin日吉東～

【日時】 令和5年9月23日（土）15時～（2時間程度） 【場所】 日吉東小学校

【参加者】 69組、242人（大人107人・こども135人）

【内容】 9箇所のチェックポイントにある二次元コードをスマホで読み取り、クイズに答えながら、集めたキーワードによる最終問題に回答。

最終問題回答から優秀賞を選定。



【参加賞】 南区オリジナルグッズ 【優秀賞】 地域団体からの提供品（1組選定）

13 地域資源活用事業

R6継続事業

目的

- ◆ 特産品や伝統文化を活かしたイベントの実施により、農水産物や伝統文化への関心を高める。
- ◆ 次世代を担う子どもたちが親子で“体験”する機会を提供することで、食農教育の推進や地域の魅力発掘・再発見を生み出す。

内容

- ◆ 概要
 - ①南区の特産品（トマト、なす、はまぐり等）の農漁業体験ツアー（植ええ・収穫・販売・調理など）
 - ②南区歴史伝統文化体験ツアー（史跡めぐり、お寺でプチ修行体験、伝統工芸品作り体験など）

【実績】

①日時 令和5年6月11日（日）

場所 収穫体験：天明地区、料理教室：南部公民館

内容 トマトの収穫体験、トマトを使った料理教室

参加者 8家族 26名



②日時 令和5年11月23日（木）

場所 木原不動尊・大慈禅寺・浄行寺・くまもと工芸会館

内容 寺巡り、坐禅・写経体験、肥後こま絵付け体験

参加者 6家族 14名



14 地域コミュニティづくり支援事業

R6継続事業

目的

- ◆地域の課題解決や、地域コミュニティの活性化に取り組む団体に対して、その費用の一部を助成することで、そうした活動の活性化と新たなまちづくり団体の育成を図る。

内容

- ◆従来の自治会、校区自治協議会等の団体のみならず、各種まちづくり団体へもまちづく活動の支援を行った。

＜実績＞

- 補助団体数：17団体
(自治会、自治協議会等：11団体、まちづくり団体：6団体)
- 補助金額：3, 1 1 1, 0 0 0円
- 補助支援事業例



こうだ☆ランド



想いをつなぐイルミネーション2023

15 地域緊急課題対応事業

R6継続事業

目的

- ◆突発的に発生した地域課題、地域ニーズに対して、迅速に対応することで、まちづくりの推進を図る。

内容

- ◆次年度予算を編成して課題を解決するのではなく、課題が出てすぐに解決することで地域のまちづくりの機運を逃がさず活動につなげ、自主自立のまちづくりを支援する。

<実績>

◆川尻蔵前通りPRのぼり旗制作業務委託（南部まちセン）

令和5年5月、住民の公募により愛称が決定した「川尻蔵前通り」のPRを行うためののぼり旗を制作。この通りは熊本城マラソンのコースでもあるため、熊本城マラソンの当日、通り沿線をのぼり旗で装飾することで、全国から参加するランナーへ効果的にPRを行い、川尻地域の魅力発信を図る。

◆eスポーツ体験会（天明まちセン）

コロナ禍の影響により、地域のイベントが縮小・減少していたことから、地域住民に楽しく、新しい体験を提供するために、eスポーツ体験会を開催。

第1回：令和6年1月20日（土） 参加者 100名

第2回：令和6年3月予定



16 南区まちづくり懇話会

R6継続事業

目的

- ◆ 南区民、地域団体等との「協働」によるまちづくりを推進するため、まちづくりに関する事項について意見交換を行う。

内容

南区まちづくり懇話会委員17名（R5年度から）

＜実績＞

- ◆ 第1回懇話会（R5.6.6開催）
R5年度南区まちづくり推進事業について
- ◆ 第2回懇話会（R5.7.11開催）
R5年度南区まちづくり推進事業について
- ◆ 第3回懇話会（R5.10.6開催）
南区サロン
- ◆ 第4回懇話会（R5.12.22開催）
南区内視察
- ◆ 第5回懇話会（R6.2.21開催予定）
R5・6年度南区まちづくり推進事業について



第1回



第2回



第3回



第4回